耥	例 情 <u>勢</u> 項 目		
		内 容 (1) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会令和7年7月末実施)によると、6月の推計実績は処理羽数62,288千羽(前年比	
	1. 国内	102.5%)、処理重量187.5千½(同100.4%)となった。処理羽数が前月時点の計画値から1.9%の上方修正、処理重量も4.0%上方	生産状況
		修正となった。6月は特に後半は暑さで増体が鈍いという報告もあったが、病気の発生等は抑えられており、全体的に育成は堅	
		調だったようだ。7月に入ってさらに気温が上がり、歩留まり低下や内臓廃棄が増えてきているものの、処理羽数が102.2%、処理	
		重量は101.5%と堅調に推移する見通しで、前月時点の予測から大幅に上方修正。8月も処理羽数、処理重量ともに前月予測か	入雛羽数
		ら上方修正され、処理羽数は前年同月比101.4%、処理重量は102.8%の見込みとなった。9月は処理羽数前年同月比2.5%、処理	処理羽数
		重量は同2.8%それぞれ増加の予測となっている。	処理重量
		工場の人員については引き続き不足が課題となっている中、副産品(小肉・剣状軟骨など)・手羽中半割等の1.5次加工品は機械	
		を導入し製造している産地が見られるようになってきた。この省人力化の流れは、今後他産地にも広がっていくと思われる。	輸入動向
			品名
供	2. 輸入	(1)財務省の貿易統計によると、令和7年6月の鶏肉(原料肉)の輸入量は前月から+3.0千~の51.6千~、、国別ではブラジルが前月	履歴
	- 1,000	+0.8千 ^ト 」、の34.4千 ^ト 」、タイが+2.7千 ^ト 」の16.6千 ^ト 」となった。(独)農畜産業振興機構(ALIC)によると今後の見通しは、輸入量は7	R5年累計
		月は45.1千、(前年比87.0%)と減少するも、8月は58.8千、(同103.7%)と増加する予測である。要因としては「7月は主要輸入先で	R6年累計
		あるブラジル産やタイ産の減少が見込まれること等から、前年同月を大幅に下回る一方、8月は特にブラジルからの輸入が前年	R7年2月
給		同月を上回ると見込まれ、全体としても前年同月をやや上回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期をかなりの程度下回	R7年3月
		ると予測する」とされている。	
			R7年4月
		(a) 全部7年6日の館内細畝日の粋1見は並且ふと」0.0ずし、の44.0ずト 屋町では中屋ぶ口です。の17.0ずト カノぶ▲0.7ずト	R7年5月
		(2) 令和7年6月の鶏肉調整品の輸入量は前月から+0.8千トンの44.0千ト。、国別では中国が+1.6千ト。の17.0千ト。、タイが▲0.7千ト。 の26.1千ト。となった。国内の働き手不足やコロナ禍が明けた影響による外食筋の回復、共働き世帯の増加に伴い中食・総菜向	R7年6月
		の20.1 「 っとなった。国内の側を子不足やコロケ侗が切りた影響による外良筋の回復、共働を世帯の増加に伴い中良・総采向 け等の引き合いも継続している。	
		(3) ㈱食品産業新聞社発行の畜産日報によると、6月の輸入鶏肉(モモ肉)の価格はブラジル産で460円/kgから490円/kg(前年加重	鶏肉の消費重
		価格410円/kg)、タイ産が500円/kg中心(同480円/kg)となっている。要因としては「荷動き自体は比較的落ち着いているものの、	履歴
		タイ産は引き続き韓国からの買付けが増加した影響で現地価格が高騰している。ブラジルでは高病原性鳥インフルエンザの続発が報告されているものの、現時点でほとんど影響は見られない」とされている。	//g/IE
			R5年平均
	1. 家計消費	(1)総務省統計局発表の家計調査報告(全国・二人以上の世帯1世帯あたり)によると、令和7年6月の生鮮肉消費(購入)は数量	R6年平均
		4,049g(前年比99.4%)、金額6,552円(同102.9%)と、金額は前年を上回ったものの、数量は前年を下回った。鶏肉は数量1,458g	R7年2月
		(同93.0%)・金額1,572円(同103.1%)・単価107.8円/100g(前年同月+10.6円)と金額・単価ともに前年を上回ったものの、数量は 前年を下回った。また、牛肉は数量は上回ったものの、金額は前年を下回った。豚肉は輸入豚肉が好調に推移し、数量・金額と	R7年3月
		前午を下回ろた。また、午肉は数量は上回ろたものの、金額は前午を下回ろた。豚肉は輸入豚肉が好調に推移し、数量・金額と もに前月を上回った。調理食品は共働き世帯の増加に伴う需要は底堅いようだ。外食においては、ほぼコロナ禍前の水準程度	R7年4月
		まで回復したものの、統計外となるインバウンドによる集客もあることからエリア・業態によって濃淡があるようだ。	R7年5月
		まで国家のためが、「「「「「「「「「「「「「」」」」」「「「「「」」」「「「」」」「「「」」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「」」「「」」「」」「「」」「「」」「」」「「」」「」」「「」」「」」「「」」「「」」「」」「「」」「」」「」」「」」「「」」「」「	R7年6月
需			※参考資料:総
	2. 量販•卸	(1)一般社団法人全国スーパーマーケット協会の販売統計調査によると、令和7年6月の食品売上高は全店ベースで前年比105.0%	在庫状況(推)
		と前年を上回り、生鮮3部門の売上高は全店ベースで同102.1%、既存店ベースは同100.5%。 畜産部門の売上高は約1,225億円	履歴
要		で全店ベース同104.0%、既存店ベース同102.3%となった。また同社が取りまとめたスーパーマーケット景気動向調査によると、 「全般的に相場高が続き、牛肉の不振と豚肉・鶏肉への需要シフトが継続している。牛肉は国産、輸入共に高値推移が続くな	
女		か、中旬以降は気温上昇により焼肉需要には回復傾向もみられた。切り落としや味付肉など低価格・簡便な商材が比較的好調	R7年2月
		に推移した。国産豚の価格上昇が続き、輸入豚が好調に推移した。鶏肉はブラジルの鳥インフルエンザの影響もあり高騰が続	R7年3月
		く。特売が打てない、利益確保に悩むコメントが多くみられた」と報告されている。	R7年4月
			R7年5月
	3. 業務•加工筋	(1)日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べによると令和7年6月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比101.3%の4.7千~となった。う	R7年6月
		ち国内品は同98.0%の3.6千5、輸入品については同115.2%の1.0千5と国内品は前年を下回り、輸入品は前年を上回る結果と	
-	1. 令和7年6月	なった。 (1)(独)農畜産業振興機構(ALIC)の6月末時点推定期末在庫では国産29.8千~(前年比81.2%)、輸入品128.8千~(同96.8%)、合	ULD 10 B / W
	1. 卫和开70月	(1)(独)戻歯座業派興機傳(ALIC)/00月末時息推足期末任庫では国産29.8十分(削年比81.2%)、輸入品128.8十分(同90.8%)、合 計で158.6千分(同93.4%)となった。	出回り量(推定
-	2. 見通し	(1)(独)農畜産業振興機構(ALIC)が発表した鶏肉需給表では、6月の出回り量は国産品138.9千 ^ト 」(前年比97.3%・前月差▲5.4千	履歴
任	4. 元週し	(1)(独)晨留座業振興機構(ALIC)が発表した鶏肉需結表では、6月の出回り重は国産品138.9十~(胴年比97.3%・削月差▲5.4十~ ト。)、輸入品50.9千~(同107.5%・同+3.1千~)、合計189.8千~(同99.9%・同▲2.3千~)となり、前月からは国産品が減少し輸入	R5年累計
		品の出回り量が増加した。7月以降、「出回り量は7月、8月ともに前年同月をわずかに上回ると予測する。期末在庫は、7月はか	R5年累計 R6年累計
庫		なり大きく、8月はかなりの程度、いずれも前年同月を下回ると予測する。なお、過去5カ年の同月平均との比較でも、7月、8月と	R6年累計 R7年2月
/平		もに前年同月をやや下回る(7月:5.8%減、8月:3.1%減)と予測する」とされている。	
			R7年3月
	1 夕和7年7日科卢	 (1) 令和7年7月の月平均相場は、モモ肉803円/kg(前月差▲29円)・ムネ肉555円/kg(同+25円)正肉合計で1,358円/2kgと前月	R7年4月
ĺ	1. 卫仰(年(月期间	(1)令和7年7月の月平均相場は、モモ肉803円/kg(削月差▲29円)・ムネ肉555円/kg(同+25円)止肉合計で1,358円/2kgと削月 差▲4円、前年同月差+390円となった。 ㈱食品産業新聞社発行の畜産日報によると、「国産生鮮モモは25日以降、日経相場で	R7年5月 R7年6月
		790円台と800円を割って推移している。ただ、下げ基調になってきたとはいえ、まだまだ実需とかい離しているもよう。生鮮物の	八十0月
		荷余り感から、各社凍結に回さざるを得ない状況となっている。ムネは560円台まで上昇しており、高値を受けて市中現物の荷動	
		きは若干鈍りつつある。さらに、これまで堅調だった肩小肉についても、高値続きで荷動きが落ち着き始めている」と報告されて	相場(月別)
		いる。	品名 履歴
ا⊢			限性 R5年度平均
相			
	0 目泡1	(1) 生産・加理動向調本によると 7月の生産単海は3 無辺粉・加理辺粉・加理委員は治年以境の目にない。 強力担用	R5年平均
場	2. 見通し	(1) 生産・処理動向調査によると、7月の生産状況は入雛羽数・処理羽数・処理重量は前年比増の見込みとなっている。鶏肉相場は、4月以降モモ肉、ムネ肉共に高騰し高止まりが続いている。量販店では引続き国産品の店頭売価の改定、輸入品(ブラジル	R6年平均
勿		は、4月以降でモ肉、ム不肉共に尚騰し尚正まりが続いている。 重販店では引続さ国産品の店頭元価の以近、輸入品(ノブシル)産・タイ産解凍商品)への販売シフトが多くみられている。また、国産鶏モモ肉と輸入豚肉・国産豚こま肉との売価が逆転する店	R7年4月
		舗も見受けられ、今後の国産鶏モモ肉の需給動向に不安感が出てきている中、在庫積み増しを避けるため相場を大きく下回る	R7年5月
		安価な国産鶏モモ肉も引続き出回っている。	R7年6月
		このような事を踏まえ、前月同様、今後の相場は、モモ肉は8月以降も需要が回復するまでは右肩下がりの傾向が続く予測。ム	R7年7月
		ネ肉はタイから大口の輸入凍結品が入ってくるという情報と、量販店の店頭売価改定を考慮し、現状維持の555円前後で推移す	R7年8月
		ると予測する。	R7年9月
Ī	I .	1	

生産状況 単位: 千羽、千トン、% R6年累計(推計) R7年6月実績 R7年7月計画 R7年8月計画 R7年9月計画 数量 前年比 数量 前年比 数量 前年比 数量 前年比 数量 前年比 入雛羽数 791,537 101.1% 61,880 102.5% 65,554 101.8% 68,516 100.1% 68,830 104.8% 処理羽数 102.5% 750,759 100.9% 62,288 102.59 62,159 102.2% 59,600 101.4% 62,414 処理重量 2,273.2 101.5% 187.5 100.4% 185.4 101.5% 177.2 102.8% 184.6 102.8%

実

※参考資料:㈱全国食鳥新聞社発行「PMN]

輸入動向										単位:	: 千トン、%
品名	鶏肉			調製品			合計			比率	
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品
R5年累計	584.9	574.5	101.8	478.0	525.8	90.9	1,062.9	1,100.3	96.6	55.0	45.0
R6年累計	639.2	584.9	109.3	503.2	478.0	105.3	1,142.4	1,062.9	107.5	56.0	44.0
R7年2月	47.7	55.4	86.1	33.8	34.3	98.4	81.5	89.7	90.8	58.5	41.5
R7年3月	42.3	52.7	80.3	43.5	38.3	113.6	85.8	91.0	94.3	49.3	50.7
R7年4月	47.7	52.0	91.7	43.3	44.6	97.0	91.0	96.7	94.2	52.4	47.6
R7年5月	48.5	53.3	91.1	43.3	40.8	106.1	91.8	94.0	97.6	52.9	47.1
R7年6月	51.6	49.4	104.4	44.0	42.6	103.4	95.6	92.0	103.9	53.9	46.1

※参考資料:(独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」

モモ肉

単位:円、%

995 131.7

※()は見通し

相場(年別・暦年)

R6年

鶏肉の消費動向 単位:グラム、円、%										
履歴		数量		金額						
/ 長/正	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比				
R5年平均	1,495	1,510	99.0	1,547	1,448	106.8				
R6年平均	1,552	1,495	103.8	1,586	1,547	102.5				
R7年2月	1,499	1,584	94.6	1,601	1,605	99.8				
R7年3月	1,650	1,614	102.2	1,719	1,650	104.2				
R7年4月	1,549	1,509	102.7	1,630	1,539	105.9				
R7年5月	1 564	1 569	99.7	1 664	1 585	105.0				

315 H29年 626 941 H30年 595 282 877 R元年 243 828 R2年 614 269 883 R3年 641 954 313 R4年 348 1,010 R5年 395 1,125

単位:円

1,024

ムネ肉 計

369

 R7年5月
 1,564
 1,509
 99.1
 1,004
 1,005
 1,005

 R7年6月
 1,458
 1,568
 93.0
 1,572
 1,524
 103.1

 ※参考資料:総務省統計局HP
 家計調査報告(全国・二人以上の世帯1世帯あたり)

在庫状況(推	在庫状況(推定) 単位:千トン、%										
履歴		国産			輸入品			合計			
// 及/IE	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比		
R7年2月	25.7	34.9	73.8	139.2	124.1	112.1	164.9	159.0	103.7		
R7年3月	25.8	36.9	69.9	131.2	129.1	101.7	157.0	166.0	94.6		
R7年4月	25.0	35.5	70.3	127.4	127.1	100.3	152.4	162.6	93.8		
R7年5月	27.0	36.3	74.4	128.2	131.0	97.8	155.2	167.3	92.7		
R7年6月	29.8	36.7	81.2	128.8	133.1	96.8	158.6	169.8	93.4		
※参考資料:(独) 農畜産業振興機構「鶏肉需給表」											

出回り量(推定) 単位:千										
履歴		国産		輸入品		合計				
/ 投加	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	
R5年累計	1,689.0	1,683.1	100.4	606.3	563.3	107.6	2,295.4	2,246.5	102.2	
R6年累計	1,721.2	1,689.0	101.9	619.9	606.3	102.2	2,341.1	2,295.4	102.0	
R7年2月	137.2	140.8	97.4	47.6	57.1	83.4	184.9	198.0	93.4	
R7年3月	146.5	141.8	103.3	50.3	47.7	105.4	196.7	189.5	103.8	
R7年4月	149.3	147.8	101.1	51.5	54.1	95.3	200.9	201.8	99.5	
R7年5月	144.3	146.4	98.6	47.8	49.3	97.0	192.1	195.7	98.2	
R7年6月	138.9	142.7	97.3	50.9	47.3	107.5	189.8	190.1	99.9	
※参考資料: (独) 農畜産業振興機構「鶏肉需給表										

品名		モモ肉	·		ムネ肉			正肉合計			
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比		
R5年度平均	700	702	99.7	384	371	103.5	1,084	1,073	101.0		
R5年平均	730	662	110.3	395	348	113.5	1,125	1,010	111.4		
R6年平均	655	730	89.7	369	395	93.4	1,024	1,125	91.0		
R7年4月	799	639	125.0	444	356	124.7	1,243	995	124.9		
R7年5月	842	631	133.4	497	354	140.4	1,339	985	135.9		
R7年6月	832	619	134.4	530	354	149.7	1,362	973	140.0		
R7年7月	803	613	131.0	555	355	156.3	1,358	968	140.3		
R7年8月	(770)	613	125.6	(555)	359	154.6	(1,325)	972	136.3		

(555) 368 150.8 (1,310)

(755)

627 120.4